

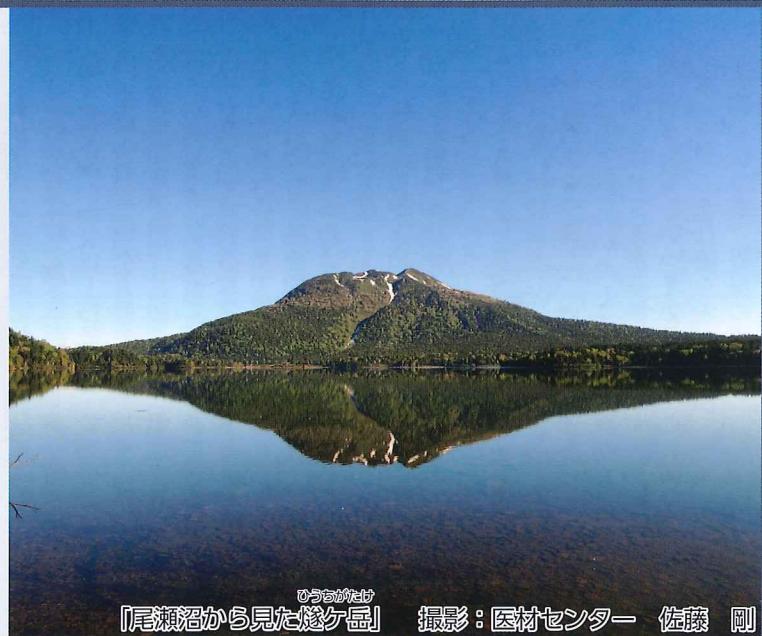
# ふれあい

2015

7

No.340

牛久愛和総合病院 広報誌



「尾瀬沼から見た燧ヶ岳」撮影：医材センター 佐藤 剛

## そけいヘルニアを知っていますか？

外科医長 藤田 俊広



そけいヘルニアとは、一般的には「脱腸」とも呼ばれる病気で、そけい部（おなかの下から足の付け根の部分）にある筋肉の膜が弱くなり、咳などでおなに圧がかかるとそこから腸などの内臓が皮膚の下にはみ出してくる病気です。すると、そけい部に柔らかいこぶのようなふくらみが見られます。最初のうちは、仰向けになつたり、こぶを手で押すと戻りますが、進行するとはみだした内臓がしめつけられ、血が流れなくなり壊死すことがあります。そのなると命の危険もあるため緊急で手術が必要になります。子どもの病気というイメージが強いですが、40歳以上の男性に多く見られる病気なのです。薬や生活習慣の改善などでは治らず、外科手術のみが根本的な解決方法となります。

19世紀の終わりになると外科手術において麻酔と消毒が実用化され飛躍的に発展するようになります。その頃、北イタリアの外科医バッシャニが、筋肉や鞘帯を寄せて縫い合わせることで弱くなつた腹壁を補強すること

になります。その手術回数はよく知られている盲腸の手術などと比べても格段に多く全国で年間15万件ほどにのぼります。そけいヘルニアの歴史は長く、古くは古代エジプト王のミイラでそけい部に傷跡のあるものが発見されており、何らかの手術が施されたことが伺えます。他にも、そけい部にふくらみのあるミイラもあり、この病気によつて死に至つたのではないかと推測されています。

また、あるギリシャ時代の彫像には、脱腸のふくらみを圧迫するための革のベルトをつけているものがあります。当時の治療はそういうたその場しのぎのものしかなかつたのでしょうか。それ以降も、ふくらみを切除したり焼きごてをあてるなどといった誤った治療がなされてきており、何千年もの間に多くの人々がこの病気に苦しみながら亡くなつた歴史があります。

当科でもこの手術の応用であるリヒテンシュタインが「メッシュプラグ法」といわれる人工のシート（メッシュ）と栓（プラグ）のようなものをあてがつて出口を塞ぎ、腹壁を補強する手術を成功させました。この方法によつて、再発率は1%弱に抑えられ、より傷の痛みや術後抑制感も軽減されるようになつたのです。現在日本でもこの方法が普及し更に様々な工夫もなされるようになっています。

さらに1989年にアメリカのリヒテンシュタインが「メッシュプラグ法」といわれる人工のシート（メッシュ）と栓（プラグ）のようなものをあてがつて出口を塞ぎ、腹壁を補強する手術を成功させました。この方法によつて、再発率は1%弱に抑えられ、より傷の痛みや術後抑制感も軽減されるようになつたのです。現在日本でもこの方法が普及し更に様々な工夫もなされるようになっています。

術を成功させました。やつとそけいヘルニアを治すことのできる時代が来たのです。それ以来数多くの外科医が手術法を編み出し、記録に残つているものだけでも160種類にものぼるといわれます。

ここが知りたい！  
**Q**  
＆  
**A**コーナー

**Q** 前立腺がんの検診はどのようにすることをしますか?

**A** 前立腺は精液の一部である前立腺液を產生している臓器で膀胱の下、尿道周囲にあります。前立腺がんは前立腺肥大症と並んで、非尿や尿、精液に異常があります。

する自覚症状に乏しいため早期発見が困難なのがんでした。このため一次検診では採血をして血液中の PSA（前立腺特異抗原）という前立腺に特異的なタンパク質を測定します。この検査は特定健康診査（個人が対象・40歳以上75歳未満）や職場健診（勤労者対象・35歳以上75歳未満）、高齢者健診（75歳以上）に併せて任意で行われるがん検診に含まれます。ご本人の意思で採血を受けていただく検査です。推薦される対象年齢は50歳以上です。ただし親・兄弟・子供さんに前立腺がんの方がいらっしゃる時は40歳からが良いとされています。

このPSA検査で基準値以上の場合は二次検診として泌尿器科専門医を受診していただくことをお勧めいたします。というのはPSAが基準値以上であるからといって必ずしも前立腺がんとは限らず、前立腺肥大症や前立腺炎の可能

性もあるからです。(P.S.A 基準値・通常 $4.0 \text{ ng/ml}$ 以下ですが検診上の基準値を年齢層によって変えている所もあります)。泌尿器科専門医では症状聴取・尿検査・超音波検査・前立腺触診(肛門から指を入れて診察)・MRI検査等を施行して、その結果から前立腺生検(直接針を刺して組織を採取)をするかP.S.A 検査による定期経過観察とするかを決めます。前立腺生検を受けた方はその結果によりどんな治療法を選択するか、P.S.A 検査による定期経過観察とするか等を決めて行きます。

P.S.A 検査で $1.0 \text{ ng/ml}$ 以下であればその後は3年に1回の割合で、 $1.0 \text{ ng/ml}$ から基準値未満ならば1年に1回の割合でP.S.A による検診を受けるのが良いとされています。

P.S.A 検査で基準値以上であつた方はまずは泌尿器科専門医を受診してください。ただしP.S.A が基準値以上であるからといって必ずしも前立腺がんと限りませんので慌てず恐れず受診して頂けるようお願いいたします。

D  
M  
カフ

糖尿病專門医

金河谷邊

入職者

6月1日付

通所リハビリ

通所リハ

ハビリ

蒸し暑い日が続き、蝉の大合唱に夏の訪れを知るこの頃ですがいかがお過ごしでしょうか。

素足は気持ちがいいですが用

介護福祉士 渡邊 香織  
はじめまして。人との出会い

A detailed photograph of a cicada resting on a tree trunk. The cicada has a brown, mottled pattern on its wings and abdomen, and its body is elongated with prominent wings. The background is a textured, light-colored bark of a tree.

ワン・ポイントアドバイス

暑くなると、素足で過ごす方

糖尿病教室のご案内

めていきたいと思います。

ブルの予防になります。毎日歯使している足だからこそ、大切にしましょう。

## 薬剤セントラル

8月12日(水) 夏の過ごし方について  
8月19日(水) 糖尿病について

8月26日(水) バランスのよい献立をたててみよう！

多くいふると思います。ちよつと、ご自分の足をよく見てみましよう。キズや腫れ、ひび割れ、魚の目やタコなどありませんか。自分で処置をすると化膿してしまうことがあります。病院で診てもらいましょう。

8月12日(水)  
夏の過ごし方について  
8月19日(水)  
糖尿病について  
8月26日(水)  
バランスのよい献立を  
たててみよう!

バランスのよい献立をたててみよう！

爪はどうですか。深爪や、爪の角を切り込み過ぎる傾向はありませんか。爪の角部が周囲の組織に食い込み炎症を起こし赤く腫れてしまします。爪は少しずつ一直線に切って、後はヤスリで先端を揃えるようにしまし



の時間など  
他にも体操  
の方も多  
く、職員  
の声掛け  
より前に  
フロアに  
来られ  
て、開始  
を待つて  
おられる  
方もいま

**春秋園だより**

陽射しも強まり暑さも日ごと  
増していく今日この頃です。この  
時期になりますと熱中症対  
策、脱水予防といった言葉がよ  
く聞かれます。

春秋園でもフロア内の温度調  
整などと共に、水分補給にも特  
に気をつける時期となります。

水分補給は適宜提供させてい  
ただく他、朝昼晩の毎食時、そ  
の他におやつの時間やティータ  
イムなどを定時に設けておりま  
す。フロアに集まつた利用者様  
同士で会話をされながら、ゆつ  
たりと和やかな雰囲気でお茶を  
飲まれています。

我々職員も飲水の介助をしつ  
つ、一緒に過ごします。

皆様がフロアに集合される場

春秋園には歌や楽器演奏の活動でボランティアの方々とたくさんお話ししています。先日、3階フロアでは、道、裏千家の岡田宗代先生の茶会をひらいていただきました。利用者様の生活がより楽なものになるようにと、お力添えもいただきながら張ております。

す。それは身体を動かす、水分を摂るといった「目的」もありますが、それだけでなく、他の方々との交流という「楽しみ」もあるからだと思います。

我々職員はこうした「楽しみ」やそれを提供する「場」を大切なものと考え、より良いものにできるよう日々心がけ、アイディアを出しあっています。

ここで、利用者様が楽しみにされているボランティアについても触れたいと思います。



看護部

C3階

副師長  
縮  
夏美

腎臓内科  
内藤  
誠

C 3階病棟は、総合外科・泌尿器科病棟です。皆さんは、外科病棟と聞いてどんな想像をしますか？手術をする患者

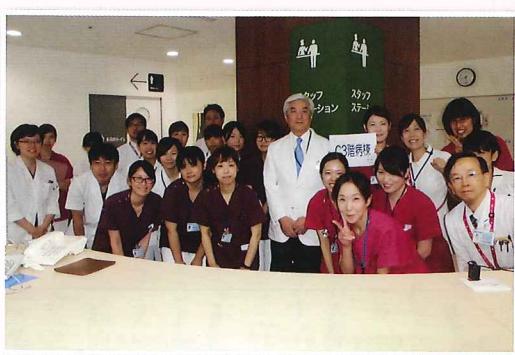
ります。未熟なところもありますが患者さん・ご家族と一緒に治療に取り組んでいきた  
いと考えています。

さんが多い病棟と思うのではありませんか。

看護師の明るい笑顔はどこから来るの？「笑う・素直」なスタッフが多いのが病棟の特徴です。オン・オフの切り替えで看護師の元気パワーは充電されています。

今年度も7月のかつぱ祭りには新人看護師をはじめ先輩看護師・主任・副師長の多数参加で夏祭りを楽しみたいと思います☆

亀岡院長を含め外科医師6名・看護師32名・病棟薬剤師1名・リハビリストック・医療ソーシャルワーカーなど医療チームが協力し患者ケアに努めています。



**Dr 趣味リレー**

ホームページアドレス <http://www.jojinkai.com>

6月1日、全体  
朝礼にて永年勤続  
者の表彰が行われ、賞状と記念品  
を贈り永年の努力と功労を称えました。今後もより一層のご活躍と病院の発展に貢献されることを期待します。

**永年勤続表彰**

6/1

看護部	看護部	看護部
『30年』	『20年』	『10年』
薬剤センター	健診センター	医局
栗原 阿部 中野	田邊 小田 高須	中村 万里子 高須 朋子
正人 愛子 智美	正宏 愛子 智美	一男

(院内感染対策室・岩淵)

(標準予防策)

講師：東京サラヤ株・学術部  
齊藤 有香氏

小林 努氏

テーマ：感染対策の基本  
対策講習会（前期）  
平成27年度院内感染  
6/3・6/16

**出来事ピックアップ**

今年度も、多くの職員に参加していただきことを目的に、同一内容で2回実施する企画を行いました。前期の内容は、昨年同様、標準予防策の講義を中心に行いました。近年、様々な感染症が話題になっています。特に、病院で働く職員は常に標準予防策が必要となります。何度も聞いても無駄になることはありません。講義を受けたことで再認識でき、更に知識を深めることができます。地域医療を担う病院として、職員一人ひとりが患者様や訪問者に対して、感染対策の重要性を感じることが出来た講演会であつたと思います。

(院内感染対策室・岩淵)

**病院理念**

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

**病院概要**

病床数 489床（一般391床 医療療養型55床  
地域包括ケア43床）

**施設**

敷地 59,449.60m<sup>2</sup> 駐車場 1151台



日本医療機能評価機構認定病院  
医療法人社団 常仁会

**牛久愛和総合病院**

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地  
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031  
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

**関連施設**

総合健診センター

Tel 029-873-4334

健康増進施設 スポーツリラックス

Tel 029-874-8791

介護老人保健施設 春秋園

Tel 029-870-3100

